

## 生産者と実需者の連携推進のための取組みについて

## 1 生産者と実需者の連携推進のための問い合わせ窓口の設置について

## (1) 趣旨

国の米粉用米生産に係る助成制度（水田利活用自給力向上事業）の積極的な活用により米粉製品の更なる普及を図るため、生産者や実需者からの問い合わせに応じる窓口を各総合支庁に設置した。

## (2) 問い合わせ窓口の設置状況

生産者側の問い合わせ窓口を各総合支庁農業振興課に、実需者側の問い合わせ窓口を各総合支庁産業経済企画課に設置し、米粉用米に係る問い合わせに応じている。

## (3) 設置日

平成22年2月26日（金）

## 2 生産者と実需者の連携推進のための打合せ会議の開催について

## (1) 開催趣旨

県産米を利用した米粉の利用を拡大するためには、国の米粉用米生産に係る助成制度（水田利活用自給力向上事業）の積極的な活用を図る必要がある。

このため、地域において、米粉用米の生産を希望する生産者と米粉製品の開発・販売を希望する食品加工業者や新規用途の米粉の販売を希望する製粉業者との連携体制を構築するため、地域の生産者団体、食品加工業者、製粉業者、行政関係者で構成する「生産者と実需者の連携推進のための打合せ会議」を開催する。

## (2) 開催状況

## ○ 村山総合支庁

- ①会議名 米粉利用拡大に向けた意見交換会
- ②日時 平成22年2月22日（月）10:00～11:30
- ③場所 村山総合支庁402会議室
- ④内容
  - ・課題事例発表
  - 「米粉の商品開発への取組み」
  - 講師 山形県リハビリセンター 岩松 剛氏
  - ・意見交換等
  - 課題事例を踏まえ、質疑応答・情報交換を行う。
- ⑤参集者 米粉関連食品加工業者、量販店、JA、県（総合支庁産業経済企画課）

## ○ 最上総合支庁

- ①会議名 生産者と実需者の連携推進のための打合せ会議
- ②日時 平成22年2月25日（木）15:00～
- ③場所 最上総合支庁503会議室
- ④内容
  - ・生産者側の米粉用米生産要望の把握について
  - ・実需者側の米粉需要の把握について

・生産者と実需者のマッチングについて

- ⑤参集者 生産者団体（各JA）、米粉製粉業者（りぞねっと）、米粉製品を製造する食品加工業者（菓子組合、庄司製麺）、各市町村主管課、県（総合支庁産業経済企画課、農業振興課、農業技術普及課）

### ○ 置賜総合支庁

- ①会議名 生産者と実需者の連携推進のための打合せ会議  
②日時 平成22年3月9日（火）11:00～12:00  
③場所 東京第一ホテル米沢  
④内容 ・開催趣旨等について  
・今後の進め方について  
⑤参集者 管内各市町農業振興担当課ほか

### ○ 庄内総合支庁

- ①会議名 米粉利用推進研修会  
②日時 平成22年2月26日（金）13:30～16:00  
③場所 庄内農業共済組合 2階大会議室  
④内容 ・講演  
「米粉の特徴と加工ポイント～米粉を上手に使いこなすには～」  
講師（財）にいがた産業創造機構研究推進エキスパート  
中村幸一氏  
「新潟発・新しい米食文化の提案～米粉入り生パスタ～」  
講師（株）小国製麺専務取締役 杉村友喜美氏  
常務取締役 齋藤 公美氏  
・情報提供  
今年度管内に導入された米粉製粉機の製造事業者である（株）山本製作所及び製粉機を導入した庄内みどり農業協同組合、鶴岡市農業協同組合からの情報提供  
・米粉加工品の展示  
⑤参加者 行政機関  
：山形農政事務所地域第一課、各市町農政担当課・教育委員会  
県（総合支庁農業振興課、農業技術普及課）  
生産者等：全農山形庄内統括事務所、各農業協同組合、農協女性部、農産加工グループ等、産直加工組織  
事業者：製麺事業者、米粉加工事業者、菓子製造事業者  
食品関連：料理研究家、レストラン等  
学校関連：庄内農業高等学校、料理学校等